

## 「新型コロナウイルス感染症拡大防止のための当面の職員行動指針」

- 日頃から、国が示した「新しい生活様式の実践例」や「感染リスクが高まる5つの場面」などを参考として、感染拡大を予防する「新しい生活様式」の実践・定着に努めましょう。
- 普段から栄養と休養・睡眠を十分にとり、熱中症対策（勤務中はクールビズなど）も行いながら、免疫力を高め体調管理に注意しましょう。
- 「①換気の悪い密閉空間」「②人が密集している」「③近距離での会話や発声が行われる」これら「3つの密」を避けましょう。
- 勤務日に次のような症状がある場合には、出勤前に所属長に連絡し自宅で安静・療養してください。また症状により躊躇せず、まずはかかりつけ医等に電話相談し、かかりつけ医がない場合は「受診・相談センター」（24時間受付・コールセンター 022-398-9211）に問い合わせてください。
  - 強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
  - 重症化しやすい方（高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患（COPD等）等の基礎疾患のある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方）で発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
  - 上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合
- 洗っていない手で目や口等の顔を触らないようにし、出勤時や外出からの帰宅時や飲食前などは、水道水と石けんによる十分な手洗いをこまめに行いましょう。トイレや職場出入口付近に常備の消毒用アルコールによる手指消毒も有効に使用してください。
- 窓口対応時、住戸訪問時、利用者対応時にはマスクを着用しましょう（対応相手が重症化リスクの高い方である可能性があるためです）。それ以外の場合については、マスクの着用は個人の判断に委ねることとしますが、高齢者等重症化リスクの高い方への感染を防ぐため、次の場合はマスク着用を推奨します。
  - ・医療機関受診時
  - ・高齢者等重症化リスクが高い者が多く入院・生活する医療機関や高齢者施設等への訪問時
  - ・通勤ラッシュ時等混雑した電車やバスに乗車する時（ただし、概ね全員の着席が可能であるもの（新幹線、通勤ライナー、高速バス、貸切バス等）を除く。）また、新型コロナウイルス感染症の流行期に重症化リスクの高い方が混雑した場所に行く時については、感染から自身を守るための対策としてマスクの着用が効果的です。
- 職場内では適切な湿度管理に努めるとともに定期的に換気をしましょう。